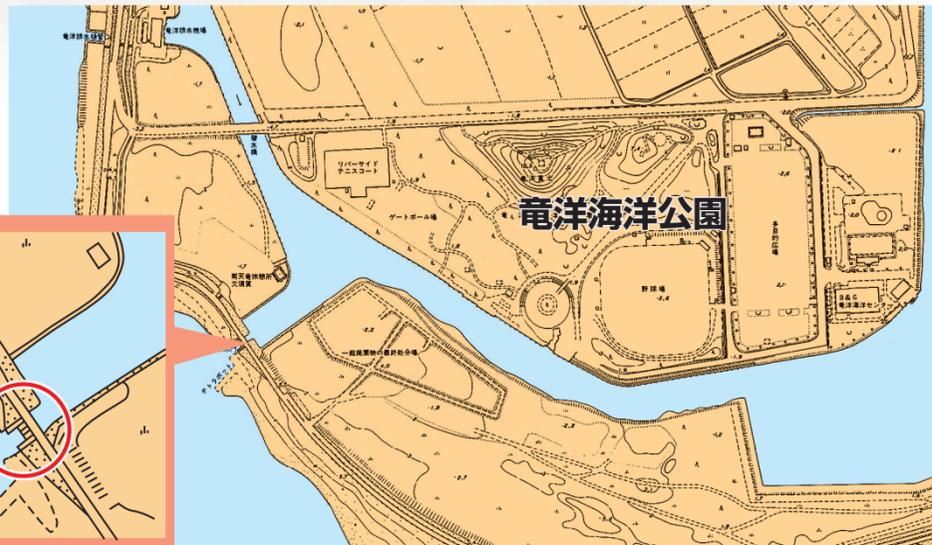


竜洋海岸高潮対策事業

竜洋水門



■ 設計仕様

形式	鋼製プレートガータ式ローラーゲート		
純径間×有効高	10.0m×5.0m (1門)		
設計水位	高潮時	海側 TP+2.60m	川側 TP-1.09m
	津波時	海側 TP+3.40m	川側 TP-1.09m
敷高	TP-2.0m		
水密方式	前面四方水密 (海側)		
開閉方式	ワイヤーロープ巻取式 (1モーター2ドラム)		
開閉速度	常時	0.3m/min	自重降下時 2.0m/min
	操作方式	機側・遠方操作および自動操作	

静岡県袋井土木事務所

静岡県袋井土木事務所 〒437-0042 静岡県袋井市山名町2-1 TEL0538-42-3216
竜洋町役場土木課 〒438-0292 静岡県磐田郡竜洋町岡729-1 TEL0538-66-9105



事業概要

竜洋水門は、「竜洋海岸高潮対策事業」の一環として、天竜川河口左岸に設置されたもので、高潮や地震による津波の被害から人命と財産を守るとともに、竜洋海浜公園の利用にも配慮した多目的水門です。本事業は、調査設計から7年の歳月と約8億円の事業費をかけて、平成15年3月に完成しました。

新しい水門は、水門の耐震化を図るとともに、航路として幅を6mから10mに、高さを3.5mから5.0mと大きくし、竜洋海洋公園のイメージに合わせ南欧風のデザインの上屋を設けました。



沿革

昭和33年、34年と相次いで襲来した狩野川台風、伊勢湾台風の高潮により、駒場地区をはじめとする海岸地帯は大きな被害を受けました。これを契機に竜洋海岸に防潮堤が建設され、昭和42年に「竜洋水門」が完成しました。その後、水門は約35年間当地区を守ってきましたが、老朽化してきたため、平成8年より検討を進め、新たな「竜洋水門」を建設することになりました。



新水門(建設中)と旧水門

水門の機能

● 竜洋海洋公園の出入口

竜洋海洋公園と遠州灘をつなぐ航路となります。

● 津波対策

水門上屋内に設置された地震感知器が、250ガル以上を感知した場合、水門が約3分で自動的に閉まり、津波の襲来から守ります。

● 高潮対策

水門を閉めることにより、台風などによる高潮から守ります。

● 洪水対策

上流の排水機場と調整を図り、開閉することにより、洪水の被害を軽減します。



竜洋水門と風車と灯台



水門上屋内の設備機器



水位計と監視カメラ

水門の操作

竜洋水門と竜洋町役場、竜洋水門と袋井土木事務所は、それぞれ光ケーブル専用回線と無線回線によって接続されています。竜洋町役場では、水門に設置されたカメラ映像や水位計情報が送信され、遠方監視により安全かつ確実に水門の遠隔操作ができます。また、袋井土木事務所では、水門からのカメラ映像や水位計情報が送信され、安全に水門付近の状況を監視することができます。

